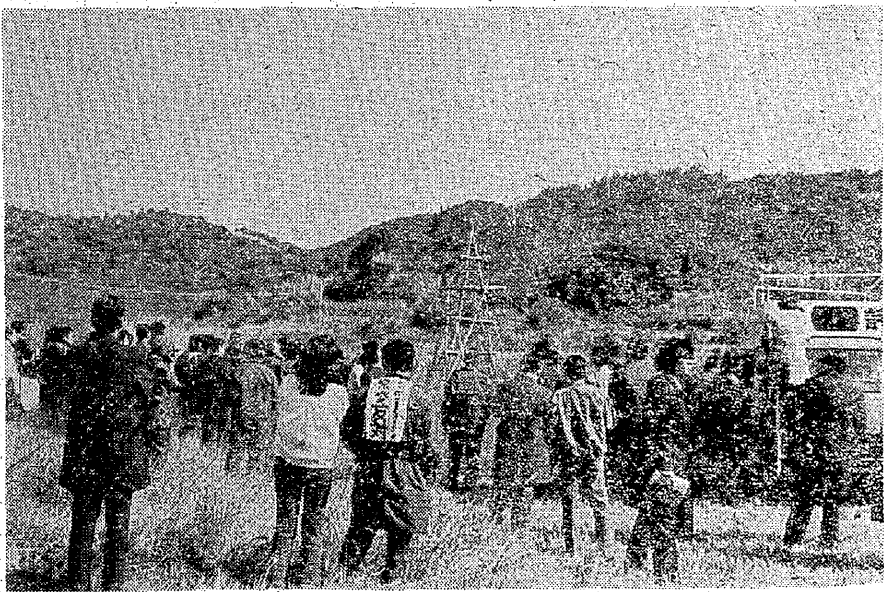


残業食もなか長残業

俺たちやドレイじゃなかゾ

そなたをさうだ。
会社は、残業食をなせ支給しないのだから。個人負担。私にはわかりません。
二、三人の人に聞いたら——
「あとで、給料のときにやるけな」とか
「俺は知らん」
「俺は下請けじゃけん、何もな

先日、三川からだいたい「残業が多かかん、来月は給料で、夜十時までのだぶん多かバイ。うれしか」と、意見もちまち。
だが、坑内の保安確保のための緊急残業なら話がわかるが、残業食がでなかつたそう。
まさに生産第一主義と、計画性で残業を注ぎ込んでくるところ。
個人個人でラーメンを注文したりして腹ごしらえした、あくる日はニギリ飯、餅などを余分に持ってきて残業にそなえたそう。



原発建設、絶対許さぬ

九州ブロック集会に参加して

三川指導部 古沢栄一

二月七日・八日の日程で、鹿児島県川内市市民会館において、むつ(原子力船)川内原子力発電所反対、九州ブロック大会が、各県より代表者六百名を結集し、開催された。
一日目、主催者側のあいさつをはじめ、原発反対闘争に組織されてきた住民代表の決意、原発の安全性を指摘している理学博士「生越忠先生(地質学)」の講演と

つづき、あとも午後五時から川内市の中心部をデモ行進し、関心の深い市民から支援の拍手を受けた。
二日目は、午前九時から同市民会館にて討論。その後川内市久見崎の現地視察と、二日間の熱気あふれる大会は終了した。
川内原発問題について、原子力発電所建設に当って、三つの条件が必要とされている。(1)過疎地であること。

つづき、あとも午後五時から川内市の中心部をデモ行進し、関心の深い市民から支援の拍手を受けた。
二日目は、午前九時から同市民会館にて討論。その後川内市久見崎の現地視察と、二日間の熱気あふれる大会は終了した。
川内原発問題について、原子力発電所建設に当って、三つの条件が必要とされている。(1)過疎地であること。

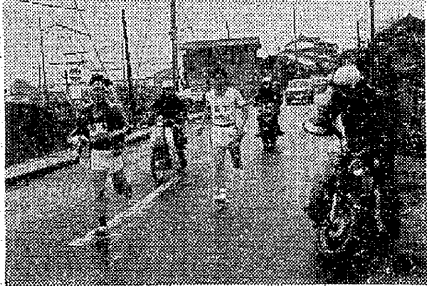
三川指導部 古沢栄一

11人の選手敢闘

見ごと準優勝獲得

荒地評駅伝

西山指導部 堀本勇



ドン、ピストルはなる。草野選手トップグループに並び、予想どおり、よし、これでよい。
二区、引田選手。
三区、伊東選手(熊本県評現役)。急な話で練習出来なかったろうが、走ってくれた。
四区、浜水選手。
五区、西田選手。砲丸投げの実力も、走るのには無理だったろう。
六区、待鳥選手。すばらしいかったとは、みんなの話。
七区、堀本。トップに、思いっきりつめた。
八区、北島選手。奥さんに見せたかった力走ぶり。トップを走る市職の選手が、目の前に。
九区、吉岡選手。ついにトップに立つ。
十区、岩下選手。市職にかわされたけど、よく頑張った。
十一区、田中選手。優勝こそならなかったが、準優勝の栄冠をに

岩下選手が走っている。それを堀本選手が伴走声援。

今日荒尾地評において、文化行事のはじめの催しの駅伝が二月二十二日行われ、西山指導部からやと十五名が三池労組代表選手として選抜された。
試合の当日は朝から、雨がどしどし降り、選手一同、風邪をひかぬように祈る。



北摂CO患者を守る会の発会式

昨年も、一昨年も、三池炭鉱労組の支援物資購入依頼(県評を通じて)、私たちが「いま直接できることは、一本でも二本でも買ってあげることだ」と、協力してまいりました。
「あれはうまかった」と、もう余分はないか、と、例年評判のよかったあのヨーカンです。今年もぜひ買って下さい。……
心から、松江交通労組のなかに感謝しようではありませんか。

ざったのは、何となくとも練習とチームワークだったと思う。
大会役員、お世話になった人、また声援して下さった家族・市民の皆さん、ありがとうございました。

記録映画「三池からの報告」(組合所有)で、働く者の生命を脅かす資本主義の実態にまでふれ、元三池労組員の立山寿幸氏(現総評関西事務所)の講演の中で、「体制的合理化と本気で闘うには、職場からの抵抗以外にあり得ない」とを、学びました。

松江交通労組の暖い連帯
(前略)長い、苦しい闘いをいまも続けている三池炭鉱労組の仲間、心からなる支援をお願いいたします。
昨年、一昨年も、三池炭鉱労組の支援物資購入依頼(県評を通じて)、私たちが「いま直接できることは、一本でも二本でも買ってあげることだ」と、協力してまいりました。
「あれはうまかった」と、もう余分はないか、と、例年評判のよかったあのヨーカンです。今年もぜひ買って下さい。……
心から、松江交通労組のなかに感謝しようではありませんか。



北摂に守る会が……

大阪 岡本光治

拝啓
生命と権利
氏、関西不知火会々々長の山根房光氏、大阪総評クルグの宮崎義勝氏のあいさつも受けました。
今後は三池との交流、職場闘争の経験交流を中心に活動を始め、反独占・反自民の統一戦線結成へ向けて前進することを誓い、最後に、炭掘る仲間、を合言葉で散会しました。
○患者を守る会、の結成集会を開きました。
当日は国鉄労組、全通、市職、市交通、全国金属、全国一般などの労働者を中心に、百名が結集しました。
記録映画「三池からの報告」(組合所有)で、働く者の生命を脅かす資本主義の実態にまでふれ、元三池労組員の立山寿幸氏(現総評関西事務所)の講演の中で、「体制的合理化と本気で闘うには、職場からの抵抗以外にあり得ない」とを、学びました。
松江交通労組の暖い連帯
(前略)長い、苦しい闘いをいまも続けている三池炭鉱労組の仲間、心からなる支援をお願いいたします。
昨年、一昨年も、三池炭鉱労組の支援物資購入依頼(県評を通じて)、私たちが「いま直接できることは、一本でも二本でも買ってあげることだ」と、協力してまいりました。
「あれはうまかった」と、もう余分はないか、と、例年評判のよかったあのヨーカンです。今年もぜひ買って下さい。……
心から、松江交通労組のなかに感謝しようではありませんか。